

2003年度
Block 3 テュートリアル課題

課題番号 5

おなかが痛い



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい。

消化器外科 羽鳥隆

シート 1

新入社員の鈴木さん（22歳、男性）と会社の先輩の田中さん（45歳、男性）との会話です。

田中「近頃、おなかが痛むんだよ。」

鈴木「えー、先輩もですか。僕もおなかが空いてぐるとみぞおちがキリキリ痛むんです。」

田中「俺は、酒の飲みすぎかな。みぞおちから背中にかけて、鈍い痛みがして、時々鋭く痛むんだ。」

田中「俺は、酒の飲みすぎかな。みぞおちから背中にかけて、鈍い痛みがして、時々鋭く痛むんだ。」

抽出を期待する事項

1. 「おなかが痛い」とはどういうこと?
→腹痛の発生機序について学ぶ
2. キリキリ痛む、鈍い痛み、鋭く痛む
→腹痛の性状、種類（内臓痛、体性痛、関連痛）について学ぶ
3. みぞおちの痛み、背中にかけての痛み
→腹痛の身体所見、腹痛の部位と考えられる疾患について学ぶ
4. 酒の飲みすぎ
→腹痛の誘因、原因について学ぶ

シート2

その2週間後、田中さんは緊急入院となり、お見舞いにきた鈴木さんとの会話です。

田中「少し飲みすぎた翌朝、突然、激しくみぞおちが痛み、冷汗もでて、
救急車で病院に運ばれたんだ。それは大変でしたね。そういえば、
おまえ、何だか顔色が悪いみたいだなあ。」

鈴木「そうなんですよ。おなかの痛みに加えて、時々、便が黒い時がある
んですよ。それに体もふらふらするんです。」

田中「それはよくないな。おまえも俺みたいにならないうちにすぐに病院
で診てもらったほうがいいぞ。」

抽出を期待する事項

1. 突然の激しい腹痛、冷汗
→急性腹症、ショックについて学ぶ
2. 顔色が悪い、黒い便、体がふらふらする
→消化管出血に伴う症候、身体所見について学ぶ

シート3

翌日、鈴木さんは病院を受診し、そのまま入院となってしまいました。主治医の山崎先生と鈴木さんとの会話です。

山崎 「診察所見、血液検査では、異常がありますが、他の検査では異常はみつかりませんでした。上部消化管内視鏡検査では大きな十二指腸潰瘍があり、現在、出血はしていませんが、出血したあとがあり、再出血する恐れもあるため入院していただきました。」

鈴木 「手術はしなくてもいいのですか？」

山崎 「いい薬があるので、まず、薬で治療しましょう。でももう少しで十二指腸に穴があいて緊急手術となるところでしたよ。」

鈴木 「それは怖いですね。」

抽出を期待する事項

1. 診察所見、血液検査、X線検査、腹部超音波検査、消化管検査
→急性腹症、消化管出血の診断のすすめ方について学ぶ
2. 十二指腸潰瘍、消化管出血
→出血性十二指腸潰瘍の治療について学ぶ

シート4

鈴木さんは2週間後退院し、再び田中さんをお見舞いに訪れた。

田中「おまえ入院していたんだって。でも随分顔色がよくなつたなあ。」

鈴木「そうなんです。出血性十二指腸潰瘍で、もう少しで穴があくところでしたよ。」

田中「そうだったのか。俺のほうは脾臓がやられ、ひどい炎症を起こしたらしいんだ。死んでしまうこともあるんだって。重症急性脾炎と医者は言っていたよ。」

鈴木「それは心配ですね。しっかりと治してくださいね。」

抽出を期待する事項

1. 脾臓がやられた

→脾臓の解剖、機能について学ぶ

2. 脾臓の炎症、重症急性脾炎

→急性脾炎の病態、診断について学ぶ